

第3回 志染中学校区地域部会 意見のまとめ

開催日：平成30年12月19日

会場：志染町公民館

(◎は市教委の発言)

1 保護者説明会（11月22日）に対する意見

- 今後のビジョン、通学面、相手校との交流（準備）などをどうするのかをまずは提示してもらい、意見をしっかり聞き検討してもらいたい。その上で議論していきたい。具体的な質問をしたが、具体的な回答をもらえなかった。
- 今のままの予定での統合は早すぎる。小学校では残してほしいという意見があった。アンケートをとってもらいたいという意見もあった。
- 事前に両校の子ども同士の交流がなければ、いじめられる等の不安がある。平成32年度から統合するのであれば、もうすでに動いていないといけないのではないか。7月から何も進展していない。もう遅いのではないか。
- 統合後は、志染地区の生徒数が少ないから、PTA活動も多くなるのではないかという意見がある。

2 地域振興について

- 志染を活性化させたいと考えている。中学校が統合になっても、小学校は残してほしい。学校は核になる。小学生の間に地域の良さを教えていけば、志染も存続できるのではないだろうか。市では活性化を言われているが、かたや学校は統合と言われる。
- PTAの方の意見を聴けば、統合も必要と考えるが、小さい市で高校が4つもある市は他にない。頭数の関係でやってしまうのはどうかと思う。
- 三木市の産業振興の話を持ってきてほしい。地盤をしっかりとやらないと、子どもが大人になったときに故郷がなくなってしまう。志染が消えるのを、だまって見ておくのか。
 - ◎子どもの学びも大切、産業や地域の活性化も大切、両方が良くなるように地域の方が活性化について考え、市と地域が協力して取り組む必要がある。
- 統合が上手くいった後、歴史のある志染町をどうしていくか考えていく必要がある。子どもも大人も、より良い方向へいくため、市から言われてではなく、自主的に考え、動くべきである。

3 市教委からの説明

- ◎地域における説明会や意見交換会については、その内容を学校再編検討会議や総合教育会議の委員に必ず伝える。しかし、タイミングがあるので前後することもある。
- ◎再編検討会議や総合教育会議では、志染中学校は統合の方向で考えている。再編の話は、数が減っていることがスタート点だが、その根本には「子どもの学びがこのままでいいのか」ということがある。今のままの少人数の中での教育では、これから求められる学びに対応することが厳しいと思う。
 - ◎（段階的統合について）教員配当が少なくなる可能性に加え、後輩をもつ経験が無いまま卒業してしまう生徒がいることや、元々少人数の中で、さらに少ない中で部活動をはじめとした教育活動をやっていかないといけなくなる。

4 通学について

≪徒歩通学説明≫現在、緑が丘中、自由が丘中ともに全員が徒歩通学している

◎緑が丘中で一番遠い人：2.1km 約30分、自由中で一番遠い人2.3km 約30分

どのような場合（範囲）に徒歩通学となるのかを今後検討する必要がある。

例えば、東吉田交差点から自由が丘中への道が危ないなど、危険個所の確認も進めていく必要がある。

《自転車通学説明》現在、志染中は生徒全員に自転車通学を認めている。

◎どのような場合（範囲）に自転車通学となるのかを今後検討する必要がある。

志染の東側からの通学時（窟屋交差点起点）、緑が丘中の方が遠く、5～6分多く時間がかかるが、自由が丘中では、う回路を通らなくてはならない場合、その差は少なくなる。双方ともに、5分程度は自転車を押して坂を上ることとなる可能性がある。

《バス通学説明》

◎現状を考えると、路線バスは厳しい。基準を設けてバス、自転車、徒歩をどう区切るのかを考える必要がある。子ども目線で考え、安全、学校生活を考慮する必要がある。小学校と中学校は大きく違う。小学校では自転車通学はなく、バスが徒歩になる。

《意見交換》

○自由が丘中の前の道を車両進入禁止にしたり、歩道整備をしたりできないか。そのような整備も必要。歩道と自転車が通れるようにする必要がある。勉強よりも、まずは安全、命が大切である。

◎う回路を通るのがいいのか、今後検討が必要である。

○緑が丘中との統合案はどうなったのか？

◎統合先については、地域に引き続き検討していただきたい。

○緑が丘中なら志染中からシャトルバスというのも可能ではないか。

○そうすると部活時間があるので時間が制限されるのではないか。

◎部活になると小集団単位で、個別の検討になってくる。

○距離はすごく気になる。坂のつらさは十分わかっている。行くのに時間がかかる。

子どもが安全に下校できる時間帯に帰ってきて欲しい。志染中でも配慮してもらっている。

○スクールバスを複数便出してもらえるのか、家の近くから出してもらえるのか、志染中から出るのか。選択制などをとってもらえるとありがたい。帰りも、部活のあるなしなど、2、3便出してもらえるとありがたい。バスの後ろに自転車を積めるようにできないのかなど、疑問や意見がある。

○自由中の場合、安全面、コーンを置く、監視員を配置などの対応ができないか？

ルートを変える、完全に閉鎖するなど。下まで広い道にすれば良い。いずれは志染バイパスの歩道が伸びていく（三津田まで）。歩道は、片側だけだが両側にしてもらおうなどの要望が出せないか。

○いずれは戸田まで伸びていく。どちらかの学校になるなら、このことを考えていく必要がある。

○前回では緑が丘中の方が近いとなっていたが、道で考えるとそうではない。

◎地図上と異なり、通学路で考えると、窟屋交差点付近を通り、通学する必要があるためである。

○自由が丘中なら遠い子と近い子で差があるが、緑が丘中は平均的である。

○安全面を第一に考えることは大切。しかし、親は実際に学校へ行った場合、楽しく仲良く生活できるかが心配である。志染中と同等、それ以上の教育環境を与えてもらえるのが大切である。保護者同士の付き合いもある。それぞれの地域の歴史がある。

◎距離は目に見える要素だが、学校の様子などは、これという決め手はない。生活圏を重視する場合もある。どのようなことが、判断基準になるか意見を伺いたい。

- 保護者が送迎する場合もある。緑が丘の場合、イオンなどに迎えに行くこともある。自由が丘に買い物に行くことはない。
- 買い物で、志染駅の方へ行くことはない。すぐ坂を上がって青山方面となる。
- 志染中をバスの停留所にし、路線バスの経路（出発点など）を工夫すれば、志染地区が便利になるのではないか。（緑が丘中への通学時にそれを使うならば）公民館に自転車を停めて乗り換えることとなるだろう。
- 自分の子を志染から通わすと考えると一番は安全。自転車になると自転車を買わないといけない。通学時、見守ってくれている人が必要だが、統合になって各箇所にも立ってもらえるのか？それを考えるとバスが良い。行事をすると志染の方は車で行くが、停める場所がない。これらも考えていかないといけない。
- 地域内でのコミュニケーションがほとんどない。子どもと地域が接することがなくなる。コミュニケーションがなくなれば志染が衰退していく。ある程度地域と接する場が必要。
- 帰ってくる時に街灯がついているのかなども心配である。少ない人数が、多い人数の方へ行くことについては、数で考えると仕方がない。

5 事前交流・準備

- ハード面、ソフト面の両方を考えないといけない。子ども同士、保護者が交流する必要があるが、これらを考えると1年では厳しい。
 - ◎1年間交流するにしても、下地作りの期間も必要。1年以上は必要。準備の一端を示すと、制服やカバン、PTA役員、学年費の納入、教室見学、卒業アルバム、行事合同、生徒会交流、部活交流、オープンスクールなど、このようなことをするのも1年以上は必要だろう。
- 2年はいるのではないだろうか。2、3年していけないとダメではないか。

6 その他

- 全校の人数を足しても小学校66名、中学校45名では少ない。この人数は大きな問題だ。少ない人数より、統合した方がいいのではという意見が周りではある。また、志染小学校や志染中学校へ校区外から来てもらうのは無理なのかと考えるが、難しいと何かに書いてあった。それならば、三木市全体を見直す方が良い。志染・星陽だけ動くのは不公平ではないか。
- 中学校で分校制はできないか
 - ◎中学校で分校制はないだろう。神戸市を除き、県内200校程度の中学校があるが、その内12校が生徒数50名未満であり、離島2校、夜間中学校1校除くと9校で、その内2校が三木市内にある。
- 統合相手校も（志染中と統合する際に準備する内容を）色々考えてもらう必要がある。
- 再編検討会議、総合教育会議で決定したものを地域部会で意見を聞き、そこで出た意見を再度会議に戻し、修正するという流れにならないのか。
- 準備期間が2年なら2年と出してもらえれば議論が深まるのでは？
- 市の方で、「具体的にこうこうするので、良い意見を下さい」というようにすればどうか。これまでに意見を聞き過ぎて何も出来なかったことがある。
- 子どもは色々なことを学んでほしい。自分が高齢になった時に子どもが居てほしい気持ちはあるが、子ども一人一人が自由に学んで、自分で先を考えてほしい。「志染に魅力がない」、という現状は、今まで少しずつ築いてしまったもの。子どもの将来を考えると何がいいのかをすごく悩んでいる。